

米澤上杉城下町マラソン

アンケート集計結果

令和2年 12月

米澤上杉城下町マラソン アンケート集計結果について

【概要】

次年度以降の大会をより良いものにすべく、在り方や内容について参加者の意見を参考にするためにアンケートを実施した。

▼対象者：米澤上杉城下町マラソン2019エントリー者779名（全員※ファミリーの部は代表者）及びホームページ閲覧者

▼回答方式：インターネットによるアンケートフォームからの回答
アンケート内容は市内在住用と県外（市外を含む）在住用の2種類

▼期間：令和2年8月13日から10月31日

▼回答者数：米沢市内229名 県外（市外含む）177名 合計406名
※2019エントリー者のうち225名回答（回収率 28.8%）

回答者の男女対比と年代別

回答者の男女比率では市外、県外とも男性が約7割、女性が約3割であった。

年代別では30代～50代を中心に回答があった。これは常日頃からランニングや運動をしている方々が中心で、他の大会にも積極的に参加していることなどから大会に対する意見を寄せたかったものと推察される。

年代・性別(県外・市外)

| 区分 \ 年代 | 年代 | | | | | | | | 合計 | % |
|---------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|---|
| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70以上 | | | |
| 男性 | 11 | 8 | 20 | 37 | 31 | 19 | 2 | 128 | 72.3% | |
| 女性 | 6 | 7 | 12 | 14 | 4 | 5 | 1 | 49 | 27.7% | |
| 合計 | 17 | 15 | 32 | 51 | 35 | 24 | 3 | 177 | 100.0% | |
| | 9.60% | 8.47% | 18.08% | 28.81% | 19.77% | 13.56% | 1.69% | 100.0% | | |

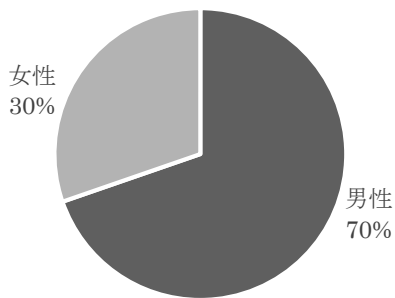
年代・性別(米沢市内)

| 区分 \ 年代 | 年代 | | | | | | | | 合計 | % |
|---------|-------|------|-------|-------|-------|------|------|--------|--------|---|
| | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70以上 | | | |
| 男性 | 23 | 9 | 18 | 50 | 33 | 17 | 5 | 155 | 67.7% | |
| 女性 | 24 | 8 | 17 | 18 | 4 | 3 | 0 | 74 | 32.3% | |
| 合計 | 47 | 17 | 35 | 68 | 37 | 20 | 5 | 229 | 100.0% | |
| | 20.5% | 7.4% | 15.3% | 29.7% | 16.2% | 8.7% | 2.2% | 100.0% | | |

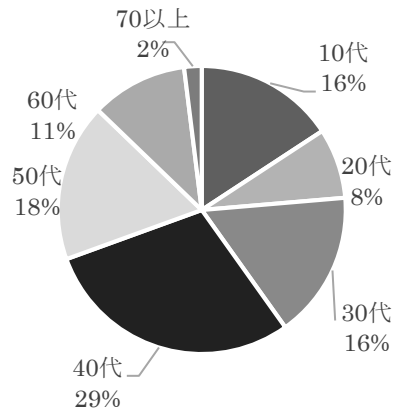
年代・性別(合計)

| 年代 区分 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70以上 | 合計 | % |
|----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|--------|--------|
| 男性 | 34 | 17 | 38 | 87 | 64 | 36 | 7 | 283 | 69.70% |
| 女性 | 30 | 15 | 29 | 32 | 8 | 8 | 1 | 123 | 30.30% |
| 合計 | 64 | 32 | 67 | 119 | 72 | 44 | 8 | 406 | 100.0% |
| | 15.8% | 7.9% | 16.5% | 29.3% | 17.7% | 10.8% | 2.0% | 100.0% | |

1.性別 (全体)



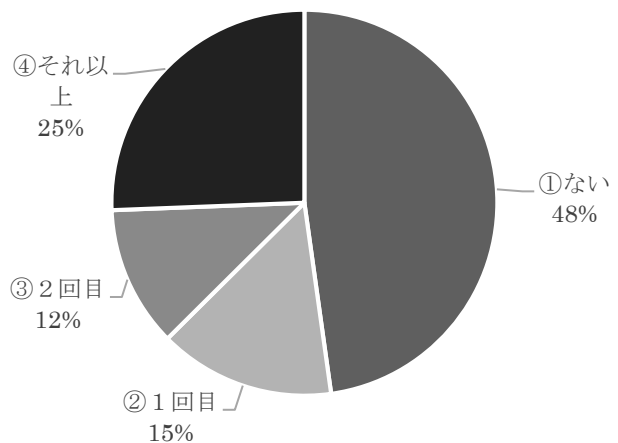
1.年代別 (全体)



【アンケート結果から】

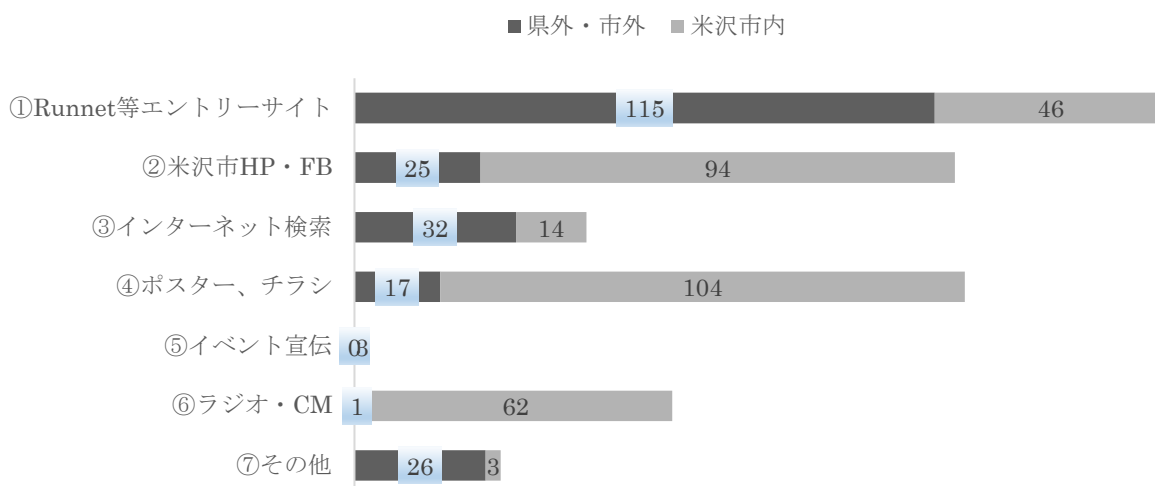
1 参加回数

参加回数が「ない」の回答が約5割にあたる194人であったが、この結果については、アンケート対象が2019年のエントリー者であること、2019年大会が初出場となる予定だったが、台風の影響で中止になったこと、などから「ない」との回答する者が多くなったと考えられる。次に多いのが、「3回以上」の経験がある方が104人（約25%）であった。これは本大会を毎年楽しみにしている方が多いことがうかがえる。また2018年大会の印象が良かったと回答した県外の声も大変多く、継続することで本大会の認知が増えてきたことにもなると思う。



2 認知方法

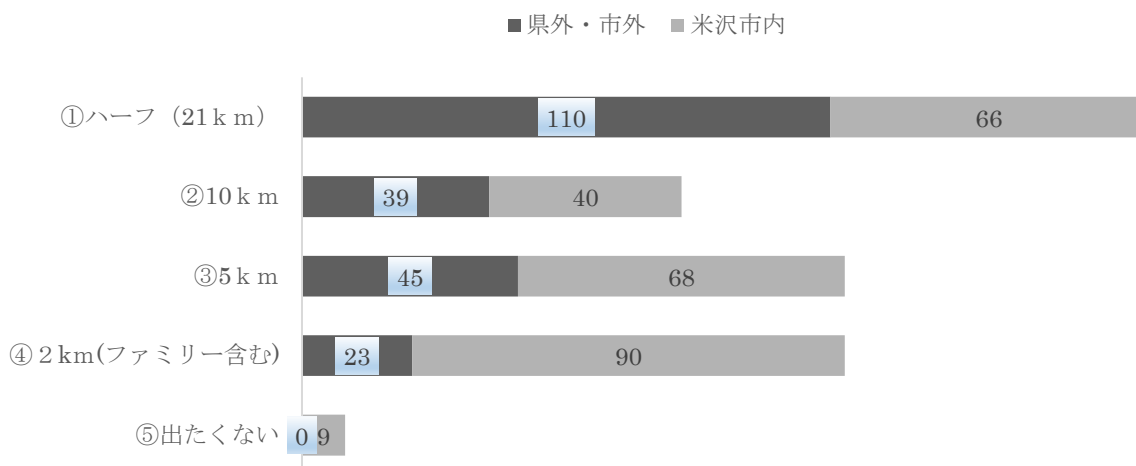
全体の割合からすると「Runnet 等エントリーサイト」が161人と全体の約4割だが、市内と県外を比べると県外の方が115人（65%）以上、市内の方は46人（約20%）であった。また「市のHP・FB等」は市内が94人（41%）、県外が25人（14%）とかなりの開きがあった。市内で最も多い回答は「ポスター・チラシ」で104人（45%）が選択していた。このことから、市民向けには市内におけるPRを増やし目にする機会を増やすことが効果的と考えられるため、市内の広報・周知が今後の課題だと考える。



3 種目

本大会では10kmの項目はないが、今後運営するにあたって10kmコースの需要があるのか判断するためにアンケート項目に入れた。結果として約20%の79人の方から10kmの希望があり、理由も「5kmでは短いがハーフでは長すぎる」という意見が多かった。

県外は約6割以上の方々がハーフを希望しており、理由として「遠くから来ているからハーフ以上（フルマラソンの希望もある）は走りたい」という意見が多数あった。また「せっかく参加するならば米沢の風景や長い距離を走りたい」という方が非常に多かった。

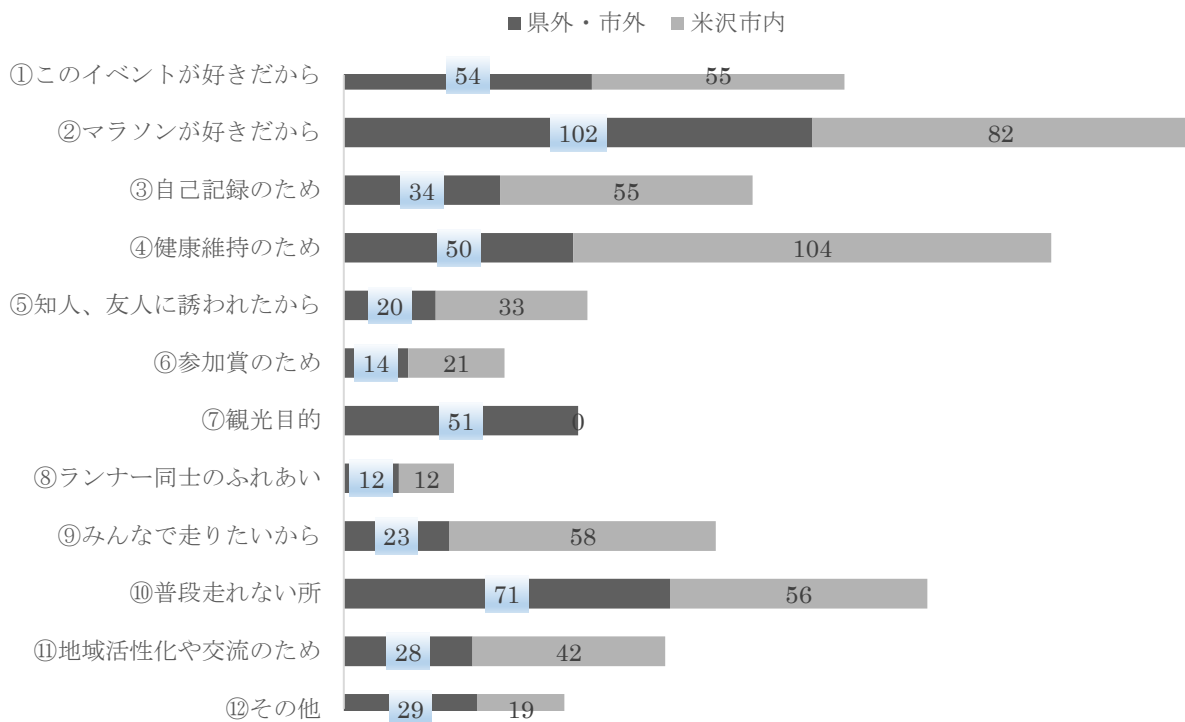


4 参加目的

全体では「マラソンが好きだから」が最も多く184人（45%）の方が選択していた。続けて「健康維持のため」が154人（37%）、「普段走れない所（市街地）が走れるから」が127人（31%）、「このイベントが好きだから」が109人（26%）であった。

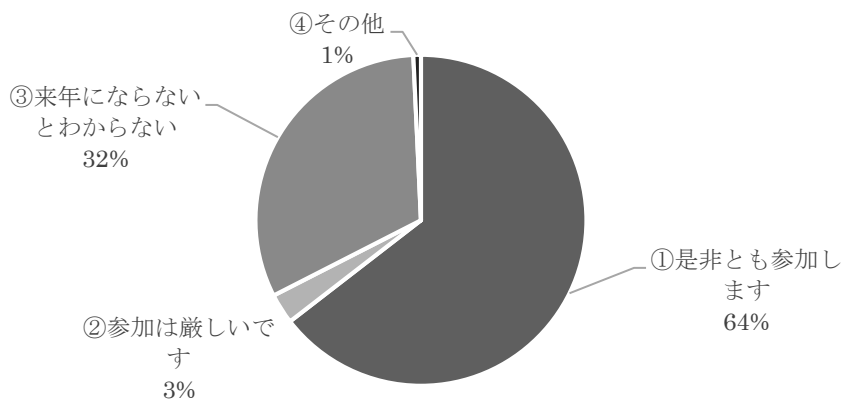
市内の方では多い順に、「健康維持のため」104人（45%）、「マラソンが好きだから」82人（35%）、「みんなで走りたいから」58人（25%）となっており、健康志向やマラソン好きの仲間と走りたい方が多いと感じた。ほかにも「このイベントが好きだから」56人、「自己記録のため」55人、「普段走れない所（市街地）が走れるから」55人が選択しており、様々な目的をもって本大会に参加していることがわかった。

県外の方では「マラソン大会が好きだから」102人、「普段走れない所（市街地）が走れるから」71人、「このイベントが好きだから」54人が上位となり、次いで「観光目的」も28%にあたる51人の回答があった。このことから、県外からの参加者を増やすためには、特色あるコースと共に魅力ある観光資源と結びつけることが重要であることを示している。



5 次回開催への参加意欲

全体の60%以上が「是非とも参加します」であった。また次点は「来年にならないとわからない」が30%であり、「新型コロナの終息」、「仕事」、「日程の調整」が主な理由であった。その不安さえなければ90%以上の方が参加意欲を示していた。ただし、「新型コロナの安全対策」や「大会運営での密集解消」、「時間差スタートの提案」等、様々な意見が寄せられた。

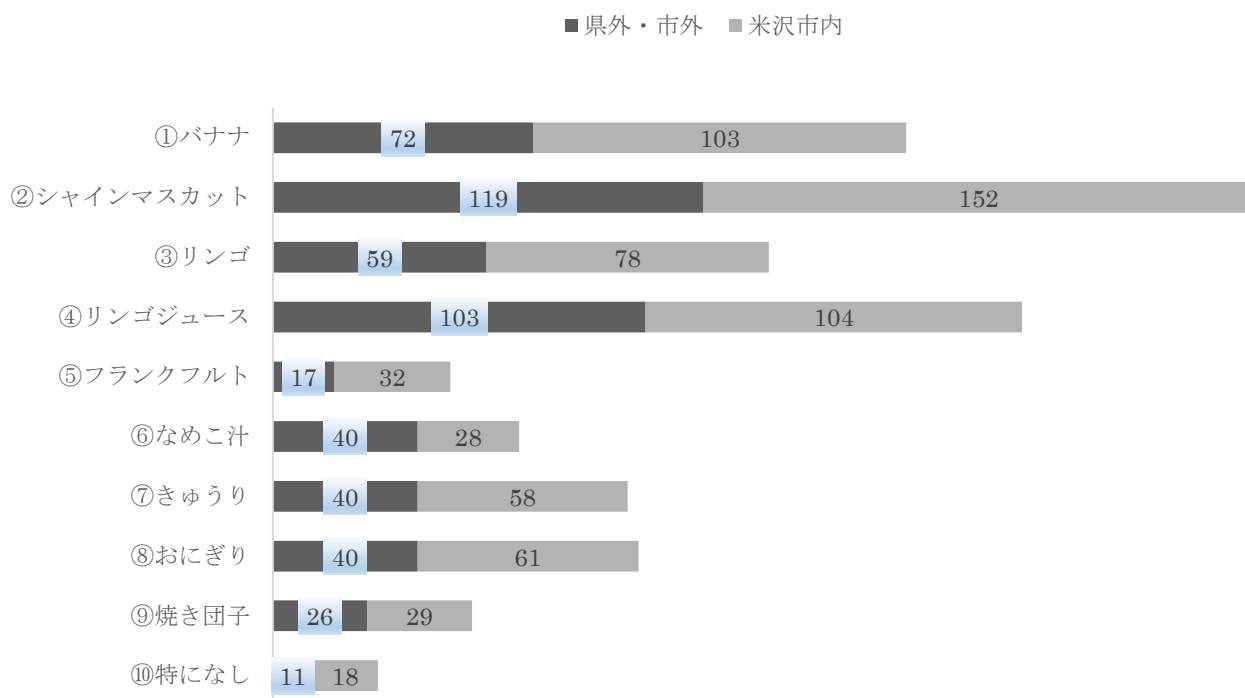


6 給水エイドでの提供

市外、県外ともに傾向は似ており、季節の果物「シャインマスカット」が最も多かった。続いてエネルギー、水分補給を目的とした「バナナ」、「リンゴジュース」が目立った。地元色を出している「焼き団子」、「なめこ汁」、「きゅうり」などは、走りながらの補給がしづらいためか2割程度にとどまった。

その他、希望するものでは、塩分補給目的で「梅干し」、「塩飴」の回答もあり、今回アンケートを出した時期が8月中旬からだったためか、「アイス」や「シャーベット」、「冷たいフルーツ」や「スイーツ」の回答もあった。

また、給水所の運営について、新型コロナの感染防止を考えて、「給水場所を広くする」、「敢えてエイドを廃止して各自でのペットボトル持参の給水方法」や、「紙コップでの提供をやめて300mlのペットボトルの配布および設置（どぶづけなど）」、安全面やその配慮についても意見があった。



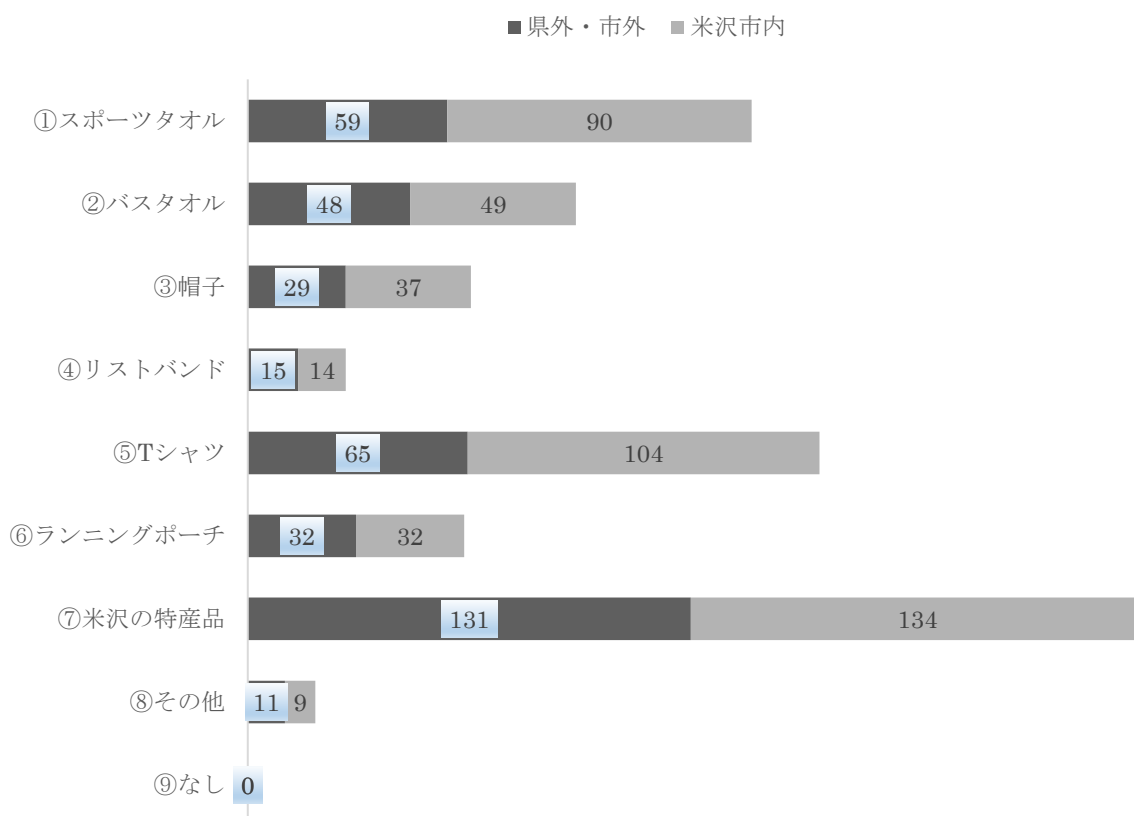
7 参加賞

全体で最も多いのが「米沢の特産品」が265人（65%）であり、次いで「Tシャツ」の169人（46%）、「スポーツタオル」149人（36%）となっている。

県外では「米沢の特産品」で131人（75%）と最も多かったが、市内においても「米沢の特産品」は134人（58%）で選択肢の中では最も多くなっており、参加記念品よりは、「食べ物などの消費できるもの」が望まれているように見受けられた。

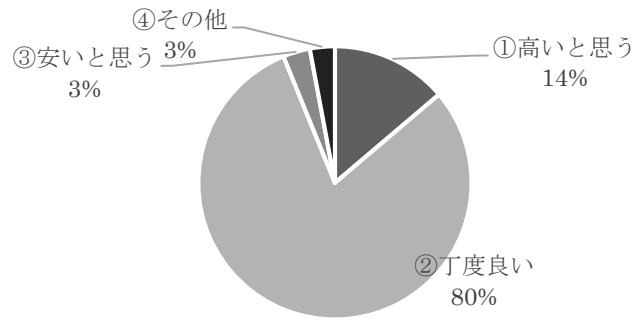
その他の意見として、年に10回以上マラソンに参加している方々からは「参加賞のタオル、Tシャツは当たり前についてきており、増えすぎて困るので、参加賞は無しの方が良い」という意見や「選択式で選べるような賞品」との意見もあった。また別の方の意見では「参加賞は要らないからその分をエイド給水所や、ゴール後の景品に割り当てては？」という意見があった。

全国各地で多くのマラソン大会が開催されていることから、参加賞についても大会独自でかつ米沢のイメージに沿うものを準備することで特色を出すことが求められている。



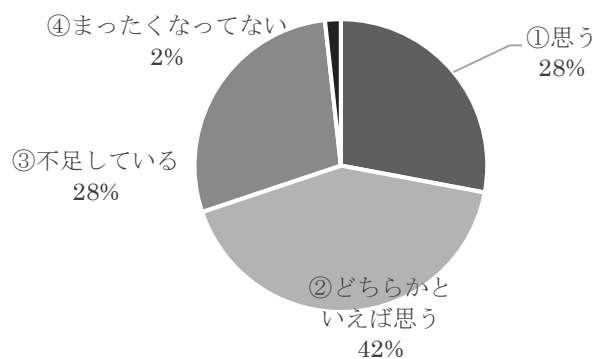
8 参加料

「丁度良い」との回答が市内では166人（72%）、県外では159人（89%）となっており全体では325人（80%）が丁度よいとしていた。一方「高い」と回答したのは県外では7人（4%）だったが、市内では49人（21%）であり、全体では56人（約14%）であった。このことから市外の参加者にとっては、他の大会と比較しても参加料が高いわけではないが、市民にとっては高く感じられ負担に感じているようである。



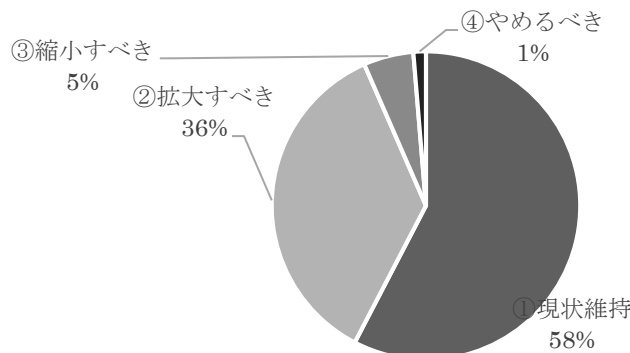
9 交通規制（市内のみ）

交通規制の周知については、「周知されていると思う」が64人（28%）、「どちらかといえば周知されていると思う」が96人（42%）となっており約7割の方は周知されていると感じているようであった。しかし、「不足している」「まったくくなっていない」も約3割あり、その中には「観光客向けへの周知不足」も意見としてあった。市民向けには広報やポスティングなど回数を増やすことで周知を図ることが可能であるが、観光客向けには、広報手段がHPやラジオ等になるため、様々な周知方法を検討し情報発信をしていくことが必要だと感じた。



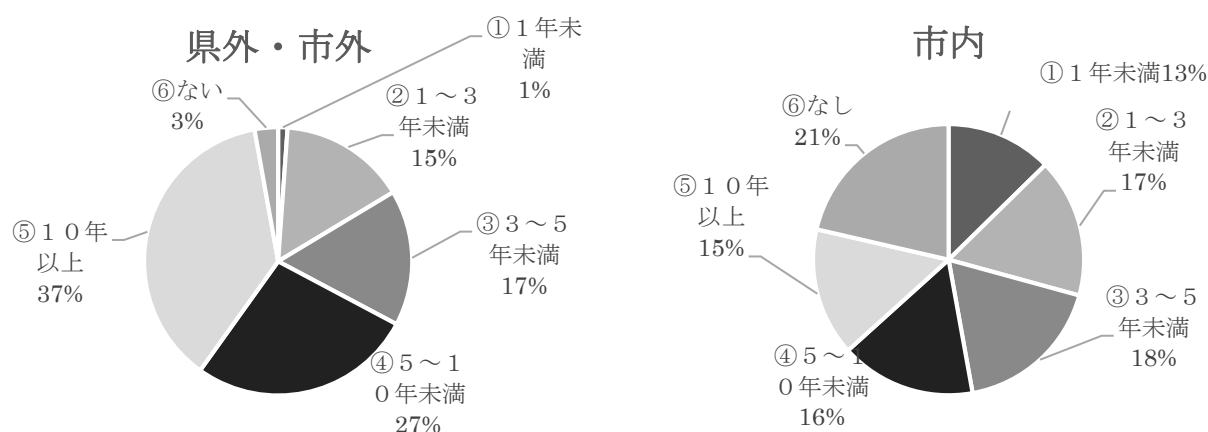
10 次回開催への要望（市内のみ）

「現状維持」が132人（58%）となり、「拡大すべき」が82人（36%）、「縮小すべき」が12人（5%）、「やめるべき」が3人（1%）であった。おおむね大会の継続が期待されていることが伺えるが、魅力ある大会になるよう創意工夫を続けることが重要だと感じた。



A1 マラソン歴

県外では「5年以上～」が約6割で、ほとんどの方が様々な大会の出場経験があり、本大会もその参加大会の一部ですと答えた方も大変多くうれしい結果であった。市内では以外にもマラソン経験なしが多く、他の項目も2割程度であった。本大会の影響でマラソンを始めましたという方の意見があり、コースの選定も運営において大変重要なのだと改めて感じた。



A2 他大会参加経験及び良かった点悪かった点

東根や寒河江、山形、天童、長井など各種マラソン大会に参加した方からはそれぞれの大会の良いところや悪いところを記入していただいた。良い点としては沿道からの応援や市民挙げてのマラソン大会と実感できるものや旬のフルーツなど地元特産品をふんだんに使うなど特色を出している大会に対しての満足度が高いように思えた。逆に悪い点としては、沿道からの応援の少ないものや会場が駐車場から遠い、案内不足、狭い着替え場所など運営についての不満があった。

A3 オフィシャルグッズ品目（県外・市外のみ）

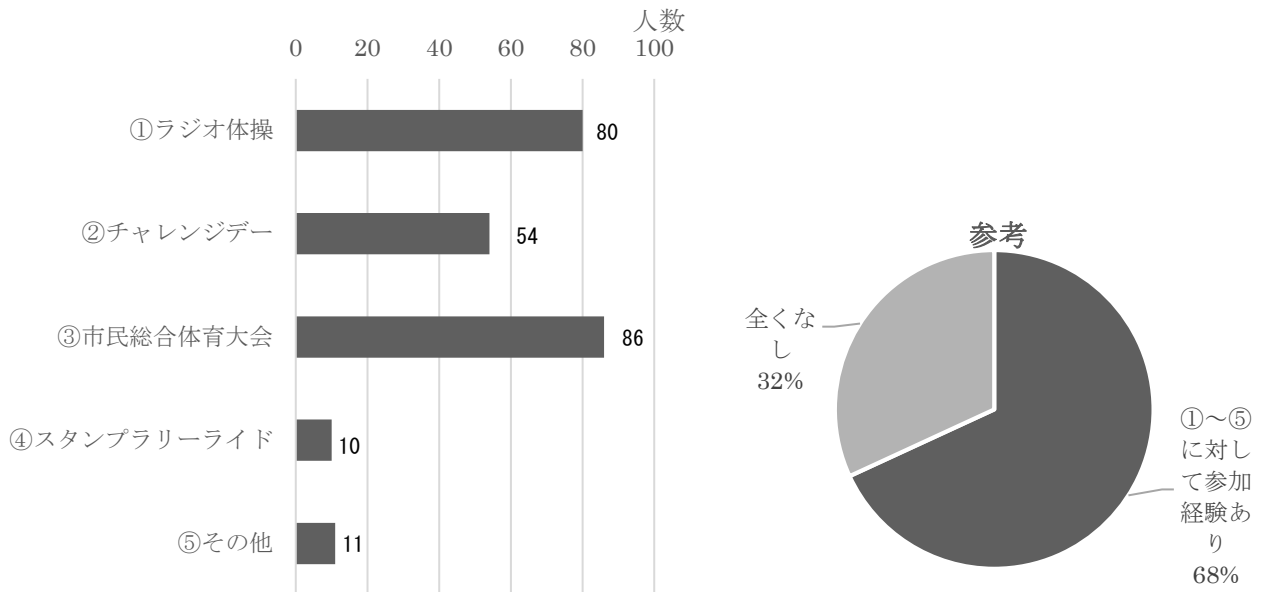
大会キャラクターを使用したオフィシャルグッズについてはTシャツやタオル、帽子、トートバッグ・エコバッグなど多彩であった。

A3 今後のマラソン大会開催方法（県外・市外の設定はA4）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い軒並み大会が中止となっていたが、新しい大会として大勢の人が集まらずにできるアプリなどを使用した大会などの要望がありつつも、感染対策をしっかり行い小規模での開催など沿道の応援を受けて走りたいとの意見も多かった。

A4 市のスポーツ関連イベントの参加経験（市内のみ）

市民の参加状況としては「市民総合体育大会」が86人（37%）、「ラジオ体操」が80人（34%）、「チャレンジデー」が54人（23%）となっている。それらに参加経験がない人は229人中73人で32%であった。



A5 米澤上杉城下町マラソンについての意見（県外・市外のみ）

中止が続いたため概ねマラソン大会の実施について期待されている意見が多かった。また課題として大会のPR不足や沿道の盛り上げ不足、他団体との連携不足、マラソン大会の目的の不明確さ毎回変更されるコースなどの改善すべき点の指摘をいただいた。そのほか温泉や米沢牛などの観光資源と絡めた多彩なコースや関連催事の提案をいただいたので今後の大会運営等の参考にしたい。

A5 普段運動する市内の施設利用状況（市内のみ）

市内の体育施設の他にも身近な地区コミュニティセンター、公園、小学校の体育館などを利用して運動しているようであった。